

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「泰阜ジビエ マーケティング事業」 ～これから始まるmade in 泰阜～
事業主体 (連絡先)	泰阜村 0260-26-2111
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 エ 商業の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	583,015円

事業内容

○鳥獣食肉加工施設視察研修(11月13日～14日)

泰阜村猟友会員9名 泰阜村職員2名 長野県林務課2名 参加
平成28年度に泰阜村で完成した鳥獣食肉加工施設の運営を泰阜村
猟友会が中心となり行うため、鳥獣食肉加工施設を建築し、先進的な
取り組みを行っている和歌山県古座川町で施設視察と運営方法等につ
いての研修を行った。

施設視察では搬入から解体・品質安全管理や衛生面を学び、販路開
拓や商品に付加価値を付けるための加工方法や必要となる備品につ
いて参考とすることができた。また施設が宿泊施設に隣接していること
から衛生面等に注意し、必要な設備が整った施設であれば、周囲への
影響がない事を確認することができた。

運営方法についての研修では、施設運営にあたっての組織づくり・運
営経費・猟友会等との連携・原材料の搬入基準・商品開発・販路の開
拓等について学び、泰阜村での施設運営に取り入れる事ができた。

当初予定していた村内学習会を開催することはできなかったが、視察
研修に参加した猟友会役員が総会等で猟友会員に説明をし知識や情
報を共有することができた。また、施設建設した地元住民への説明会に
も視察研修に参加した猟友会役員にも参加していただき、地元住民の
皆さんが心配される衛生面についても安全性を説明し、地元の了承を
得る事ができた。

○泰阜産ジビエ試食会・鹿革クラフト体験会(1月26日)

猟友会員1名 泰阜村3名 シェフ2名 長野県林務課2名 がスタ
ッフとして参加

銀座NAGANOにてジビエ試食会と鹿革クラフト体験を実施

泰阜産鹿肉ジビエ試食会参加者22名

植木シェフ・桑原シェフによる泰阜産鹿肉を使用したジビエ試食会を
開催。一般の方へのジビエの普及と、プロユーザーへの販路開拓へと
つながった。

「けもかわproject」鹿革クラフト体験 参加者21名

泰阜村地域おこし協力隊を経て泰阜村で活動している「けもかわ
project」代表井野春香氏による鹿革クラフト体験を実施。鹿肉の利用だ
けでなく、鹿革の活用も若者・女性を中心にPRすることができた。クラ
フト体験は大変人気があり、銀座NAGANOのHPで予約制にしたところ、
キャンセル待ちの状態となった。



【鳥獣食肉加工施設視察】



【運営研修】



【銀座NAGANOジビエPR】

事業効果

- 鳥獣食肉加工施設視察研修 11月13日～14日実施
(和歌山県古座川町)
 - ・泰阜村猟友会員9名 泰阜村職員2名 長野県林務課2名参加
 - ・施設運営を中心に行う猟友会員が先進地の鳥獣食肉加工施設の見学、施設の運営方法や解体技術を学ぶことにより、泰阜村での施設運営や組織づくり、地元住民の施設・運営への理解に活かすことができた。
- 泰阜ジビエPR(銀座NAGANO) 1月26日実施
 - ・猟友会員1名 泰阜村3名 シェフ2名 長野県林務課2名参加
 - ・植木シェフ・桑原シェフによる泰阜産鹿肉ジビエ試食会参加者22名
 - ・「けもかわproject」鹿革クラフト体験 参加者21名
 - ・ジビエ試食会により一般の方への普及とプロユーマーへの販路開拓へとつながった。また、若者・女性に人気のある鹿革クラフト体験では定員を超える多くの方に参加していただき、鹿肉だけでなく、鹿革の活用についてもPRができた。

【目標・ねらい】

- ①施設の安定した継続的な運営により若者・女性猟友会員の定住を促進する。
- ②泰阜村の農林業被害をなくすため、有害鳥獣捕獲を推進し、ジビエ産業の振興を図る。

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・視察・研修により施設運営の基盤が整い、継続的な運営を目指せる。
- ・ジビエのPRができ、今後の販路の開拓に繋がった。

今後の取り組み

今回の取組が鳥獣食肉加工処理施設運営の基盤となったため、若者・女性猟友会員を中心とした継続的な運営を行い、3年後には年間処理頭数130頭、売上額2,600千円を目指す。また、村内での「けもかわproject」へ原材料(鹿革)の販売も行う。